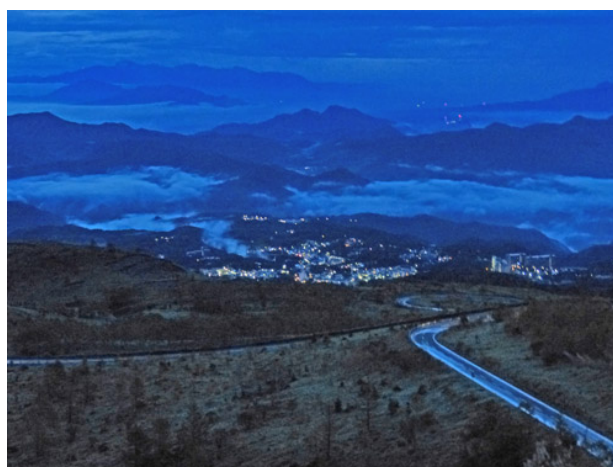


夢旅秋旅 4801 : 有馬温泉・兵衛向陽閣の思い出 149

下記は、白根山からの草津温泉・翌朝の光景。時間とともに、夜が明けて行く。

この日は最高だった。こんな感動の出会いがあるから、
ひとり旅にとりつかれてしまったのかもしれない。感動なのか、寒さなのか、ブルツときた。



割り込みご容赦。草津温泉、下呂温泉、有馬温泉、日本三大名湯。

有馬温泉・兵衛向陽閣にて、お話をさせていただく、ありがたい機会をいただいた。

下記は、講演後の新聞の一部。久楽には、貴重な思い出の資料。

夢のような、最高の部屋に、宿泊させていただいた。資料を大切に保管している。

またまた、字が小さすぎて読めない。雰囲気かわかれば幸い。

久楽 迎古さん
夢は創るもの——地球美を和紙に再現「夢絵」の世界

世界中を旅しながら写真を撮り続けてきた久楽迎古（くらいく・げいぶる）さん。50歳を機に16年間かけて35カ国を回り、撮影した壮大な地球の風景を日本の伝統文化である和紙に染め込み再現し、独自の美の世界を創り上げた。去る6月16日、有馬温泉の兵衛向陽閣「コンベンションホール聚楽」で「夢は創る物 地球美を和紙に再現 夢絵の世界」と題した講演が行われ、久楽さんがこれまでの体験や美しい自然の中で心に響いたことなどを語った。

50歳から挑んだ美の世界

世界の秘境に感動を求めて

の会
の古

◆会社を経営。1991年より「夢絵」を創り、1995年「夢絵」作品発表。

16年間かけて35カ国を巡る

私の夢は久楽迎古くらく・げいぶるといいます。これは「少年よ、大志を抱け」の言葉で有名なクラーク博士、映画「風と共に去りぬ」の俳優、クラーク・ゲーブルをかけたもの。「久楽」は「永久に美しく」という意味。「迎」は迎える、「古」は伝統、歴史や伝統を大切にしている気持ちを込めています。

16年間かけて35カ国を一人で回った私ですが、もともとはアレル会社で経営者でした。疲れる時間も惜しんで仕事に邁進していましたが、50歳の時、肩書きも名前も捨て、一からスタートを切る決心をしたのです。人生は選択と決断の繰り返し。選択するということは、別の何かを捨てることです。

自分のアイデンティティ、本当の魂を定める人

か！日本では情報が溢れ、強迫観念にさらされて落ちる人が多い。私の回りの

も込めています。

16年間かけて35カ国を一人で回った私ですが、もともとはアレル会社で経営者でした。疲れる時間も惜しんで仕事に邁進していましたが、50歳の時、肩書きも名前も捨て、一からスタートを切る決心をしたのです。人生は選択と決断の繰り返し。選択するということは、別の何かを捨てることです。

自分のアイデンティティ、本当の魂を定める人

か！日本では情報が溢れ、強迫観念にさらされて落ちる人が多い。私の回りの

女将 学校などで講演もされているのですね。久楽 小学校で作品を見せながら講演をしたり、病院の緩和ケア病棟に作品を飾っていたり。「癒される」とよく言っていました。世界中を旅するのは大変なんです。でも喜んでもらえるので、またチャレンジしたいと思います。自分のためだけなら、もうやめていたかもしれない(笑)。

女将 私達も、お客さまがお帰りの時に「また来ようよ」と言って下さるときが一番嬉しいですね。こんな忙しい時代だからこそ、

世界に飛び込んでみた。それなら好きなことやろうと思いました。それが世界旅行だったんです。旅の中で素晴らしい世界に出会い、感動しました。私の写真を見て、話を聞いてはと行って

日帰り入浴可能